



東北学院大学 × 川内村第七行政区

東北学院大学金子研究室川内村プロジェクト

1.川内村の概要と課題

- ・強制避難が実施された自治体のなかで、最も早く帰村した川内村。すでに居住制限も解除されているが、過疎・高齢化が一気に進行した。
- ・第七行政区でも、震災前に行われていた祭事はほとんどが休止・廃絶となり、こうした地域文化を記録として残したい。
- ・初年度に行った調査を2年間でまとめ、昨年まで、民俗誌の作成、修験資料の整理、研究を実施した。



2.今年度の活動について

主な活動は9月7日から10日までの現地調査。その後は、学内での資料調査の他、月1回ペースで継続的な調査を実施した。

①棟札調査の実施

第7区のうち、小田代集落の棟札類を調査し、棟札28件、幣串8件の計36件の資料を確認。

〈時代区分〉

18C→2件

20C→16件

19C→11件

不記載→5件



②諏訪神社資料の保存処理 & 整理作業

諏訪神社から幣束立てを約150件借り、学内にて殺虫処理とクリーニング・整理作業を実施。整理作業では、史料の読み取り作業もメンバー全員で行った。



③聞き取り調査の実施

今年度は諏訪神社例大祭の参与観察を実施。2025年1月には、正月行事とその飾りについての聞き取り調査も実施。



3.まとめ

継続事業であるが、メンバーが一新したため、ほぼ初年度の事業といってもいい状況だった。

そうしたなかでも、棟札類の整理、神社資料の整理、聞き取り調査など多様な活動を展開することができた。

～メンバーからの声～

活動の中で、諏訪神社資料である幣束立てに書かれた文字を解読することに特にやりがいを感じた。

実際にお祭りを見学している中で、祭りをやりたくてもできない人がいるという現実を実感した。



4. おわりに

本事業の枠組みでの活動は、終了を迎える。
しかし、第七行政区には震災前まで、記録に価する地域文化が多く残されていた。こうしたものが、忘れ去られてしまう前に、ひとつでも多く残していきたい。

A group of people are walking away from the camera on a dirt path through a dense forest. The path is surrounded by tall, slender trees with green foliage. In the foreground, three men are walking: one in a dark blue polo shirt and dark trousers, one in a white polo shirt and blue jeans, and one in a white polo shirt and dark trousers. They are followed by a larger group of people, some wearing hats and casual clothing. The forest floor is covered with green plants and fallen leaves. The overall atmosphere is peaceful and natural.

ご清聴ありがとうございました。